

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年5月12日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年5月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【6号機 バッテリー室空調機のドレン配管からの水の滴下について】 当直員が6号機 バッテリー室空調機のドレン配管から水の滴下を確認。 空調機の運転状態を「冷房」から「送風」に切替し、ドレン配管からの水の滴下は停止。 空調機の運転を「送風」にすることにより、現在室温は20℃に保たれているため、バッテリー室への影響はなし。 今後空調機の点検、修理予定。	GⅢ	5月6日
2	【6号機 残留熱除去海水系用熱交換器(B)の出口配管排出弁からのシート漏えいについて】 当直員が6号機 残留熱除去海水系用熱交換器(B)の確認運転時に、出口配管排出弁からのシート漏えいを確認。 漏えいはいじみ程度であり、系統機能には問題なし。 次回の計画点検時に排出弁の分解点検予定。	GⅢ	5月6日
3	【所内共通ディーゼル発電機(A)のシリンダー出口温度No.6の指示計不良について】 当直員が所内共通ディーゼル発電機(A)の定例試験時に、シリンダー出口温度No.6の指示計が、通常300℃付近のところ100℃付近でふらついていることを確認。 シリンダー出口温度No.6の指示計は、打振によりふらつきは解消したが、今後指示計を点検予定。	GⅢ	5月7日
4	【2号機 原子炉格納容器希ガス放射線モニタ(A)の通信異常警報の発生について】 当直員が2号機 原子炉格納容器希ガス放射線モニタ(A)の通信異常の警報発生を確認。 希ガス放射線モニタ(B)のデータおよび関連パラメータには異常はなし。 調査の結果、希ガス放射線モニタ(A)のデータを送受信するパソコンの空き容量が不足しているため、データが伝送されず警報が発生したと判明。 不要データを削除し警報をリセットした。	GⅢ	5月6日
5	【大型廃棄物保管庫の使用前検査申請時期の遅延について】 当社社員が、大型廃棄物保管庫の使用前検査申請時に、当該設備の基礎工事が完了しており、基礎工事関連の使用前検査(立会確認)ができないことを確認。 原因は、基礎工事関連の検査を記録確認で受検できると考え、他の使用前検査確認項目の受検時期に合わせ、使用前検査を行ったところ、立合確認が必要となる可能性があることが判明した。 今後、原因の深掘りと再発防止対策を検討。	GⅢ	5月10日